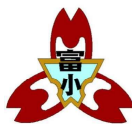


ガジュマルの聲



＜教育目標＞
と：徳を積み
み：未来に向かって
え：英気を養う

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

人権集会のドラマ

12月4日（水）の人権集会に、保護者の方が多数御来校くださいました。お忙しい中、御参観ありがとうございました。保護者の皆様の前で、子供たちは「人権について学習したこと」を堂々と発表しました。昨年度の人権集会も素晴らしかったのですが、今年はさらに子供たちの表現力がレベルアップしたことを実感しました。

1. 人権教育について

人の悩みは、突き詰めると、「対人関係の問題」に行き着くそうです。生育環境や価値観は、一人一人違います。集団の中で自分の都合ばかり主張し合っては、トラブルが起きて当然です。そのため、学校教育全体を通して、「人と関わる体験」を数多く設定し、社会性を育むことが重要になります。

「人権教育」に関しても、毎年12月に設定される「人権週間」の期間だけでなく、年間を通して取り組む必要があります。下記のような内容が、「当たり前のこと」として定着するよう、折に触れて指導を続けています。

- 一人一人が、「自分らしく生きる」ことができるように
- (1) 他者を思いやる
- (2) 違いを受け容れて協力する
- (3) 人を傷つける言動をしない
- (4) 差別を許さない



各学年の大まかな発表内容をまとめてみました。全員が人権学習を「自分事」としてとらえ、真剣に考えて集会に臨んだことがうかがえます。

一年	○ 二人が入れ替わるお話を学習し、相手の気持ちが分かる・理解することが大切。 ○ 友だちのいいところを見つけて発表。
二年	○ 友だちと仲良く遊ぶために、相手のことを考えることが大切。 ○ みんなが気持ちよく過ごすために、ルールを守ることが大切。
三年	○ 金子みすゞの詩「私と小鳥とすずと」の中に、3年生一人一人の良いところを入れて群読。「みんなちがって、みんないい」
四年	○ 学級目標に掲げている「自分らしさ」とは何か。イメージは人それぞれ違う。違いを尊重し合うことが大切。
五年	○ 世界人権宣言の発表。 ・違いを尊重しよう ・人のことを決めつけて、差別することは許されない
六年	○ 人権とは何か？いじめとは何か？ ○ 実践するのは難しいと思っていたけれど、自分にできることがあると知った。

2. 人権集会後に…

人権集会後、校内で「ふわふわ」ではなく「ちくちく」言葉を使っている場面を見かけたことがあります。「いけないこと」だと分かっているのに、つい口にしてしまうことがあるようです。私が目撃した場面では、言われた方が「そんな言い方しないで」と注意し、言った方が「ごめんね」と謝っていました。

完璧な人間はいません。子供たち一人一人が、時には自らの言動を振り返り、次に同じ失敗をしないよう心がけながら、成長してほしいと思います。